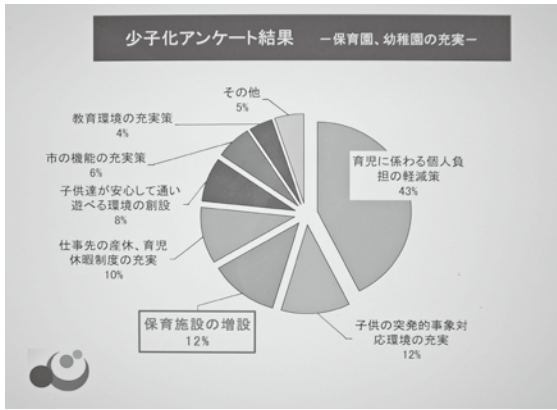


子育て支援について



川添 公貴

質問 子育て世代の多くの声の中には「児童クラブの充実」「幼稚園・保育園の延長保育」等があるが、今後の支援はどのような考えがあるのか。また、安心子ども基金を活用していくべきと考える。今後の計画は。新規設立児童クラブへの更なる支援は。



アンケート結果(保育園・幼稚園の充実)

答弁 次世代育成支援対策地域行動計画の次期計画の策定の際に、ニーズ調査を踏まえた目標値の設定、事業化について、事業者の意

向も確認し、実施計画や予算作成の中で整理したい。また、基金は県が積立てしており、この計画に基づいて活用することになる。保育園、認定こども園、放課後児童クラブ等の整備についても、この計画策定の中で方針をまとめることとしている。

シテイセールスについて



瀬尾 和敬

質問 「薩摩川内市を丸ごと売り込む」という意気込みで、市長は「シテイセールス推進」をマニフェストに掲げている。去る四月一日、副市長を本部長に「シテイセールス推進本部」が設置されたが、その取組状況はどうか。また、関係部局の横断的連携はどのように図られているか。

答弁 四月三十日にシテイセールス推進本部会議と推進委員会を開催し、各課が取り組んでいる販売促進事業、甌島誘客宣伝事業など三十四事業をシテイセールス関連業務として取り上げた。今後は、これまでの反省点、事業の整理・統合、新規事業の検討

などを行う予定である。なお、本年度実施予定のシテイセールス業務一覧を作成し、関係部局の、共通認識を図っているところであり、各課連携による効率的なシテイセールスの取組やロゴマークの活用を通して、横断的連携を図っていきたい。

洪水・内水対策について



江畑 芳幸

質問 ナナフミ災害で、中郷地区は内水により冠水した。住宅地や商業施設も多く、国道から避難所サンアリーナへの幹線道路もあり交通の要所でもある。今年も雨期を迎えるが、応急対策と激特事業で川内川は改修工事が進んでいる。市内全域における内水対策の中、長期ビジョンの早期策定が必要と思うがどうか。

答弁 中郷地区には、瀬口排水ポンプ毎分七十トン・山田島排水ポンプ毎分七十トン・中郷ポンプ毎分六百トンが設置されており、三施設の稼働で効率的な内水排除ができると考えている。過去の異常降雨時の浸水状況等も考慮し、出水期の雨に対応するため、臨時的

に三台のポンプ(毎分十トン)も設置している。今後は、既存の排水施設の更新計画等を中心として、新たな洪水対策にも対応するためのビジョンを作成したいと考えている。

若者五十人委員会を設置する考えはないか。



小牧 勝一郎

質問 二十一世紀全般にわたって生きていく十代、二十代を中心に感じる未来に対するアイデアを募り、政策に生かしていく考えはないか。

答弁 子育て中の人たちの意見、子育てを終わった人たちの経験からの意見も聴かなければならないが、現在のいろいろな委員会の方が、きめ細かな対応ができるのではないかと考えており、若者だけの五十人委員会をつくる考えは、今のところない。しかし、機会あるごとに、若い人たちの意見を聴くことは大事なことであり、様々な機会の中で公募方式を採用しながら、できるだけ若い人たちの意見を生かせるような政策をとるべきだと考える。